クラークのオフィス
クラークとロニーが入ってくる

**クラーク**
新しい仕事おめでとう。

**ロニー**
君もね。

ロニーが床にモノが落ちているのに気づく

**ロニー**（続き）
机くらいあると思ってたけど。

**クラーク**
机はなし。最近の心理生物工学の研究では、机は人工的な
階級制度を作り出し、それがコミュニケーションや生産性を
抑制するとしているんだ。

**ロニー**
ああ、そうだった、あなたは何かの教授でしたね。

**クラーク**
(笑って)
どうしてバレたかな？

**ロニー**
見え見えですよ。

**クラーク**
私、教えるの大好きなんです。
でも、父が病気になり、兄が決断して・・

**ロニー**

ああ、聞きました。

**クラーク**

誰も予測できなかった。
子供の頃、ヨークシャテリアを飼っていて
彼はものすごく怯えていた。

**ロニー**

私も飼ってました。奴らは短気ですね。

**クラーク**

そう。でも怖くはなかった。
（そして）
あれ、何話してたんでした？

**ロニー**

忘れちゃった。

**クラーク**

私も。初めからやり直しましょう。

**ロニー**

オケー。コートラックにかかっているタキシードは？

**クラーク**

あ、今晩カントリークラブで
ファンドレイジングのパーティーがあるんだ。

**ロニー**

（明るくなって）
私の彼女も行く予定です。

**クラーク**
誰ですか？ダンスをお願いしようかな。

**ロニー**
スローな曲にしてくださいね。
彼女はきっとシュリンプのトレイを
落とさないようにしているから。

**クラーク**
ああ。
（気まずい間）
そう、君は話をしたかったんだね。

**ロニー**
そう、工場の奴らはあなたが、
簡易トイレに現れたのでパニクってるんですよ。

**クラーク**
ああ、ちょっと変な感じだったね。
でも、日本ではみんな一緒にご飯食べるらしいよ。それにお風呂も。

**ロニー**
その話はどう繋がるんですか？

**クラーク**
どこにも繋がらない。

**ロニー**

何かというと、彼らは簡易トイレは
彼らの縄張りだと思っているんです。
リラックスできて、ふざけ合ったり・・

**クラーク**

問題なしです。ただ、私は私たちが同じチーム
だという事を見せたかっただけで。

**ロニー**

そうあるべきですね。そのために話にきたかったんです。
全てのことが対立になる必要はありません。

**クラーク**

それこそ私の論文の題材です。
もし我々がこの会社を回復させるのであれば、
みんな協力しなくては。

**ロニー**

我々のお父さんたちはなぜそれをわからなかったのでしょう？